

Works University

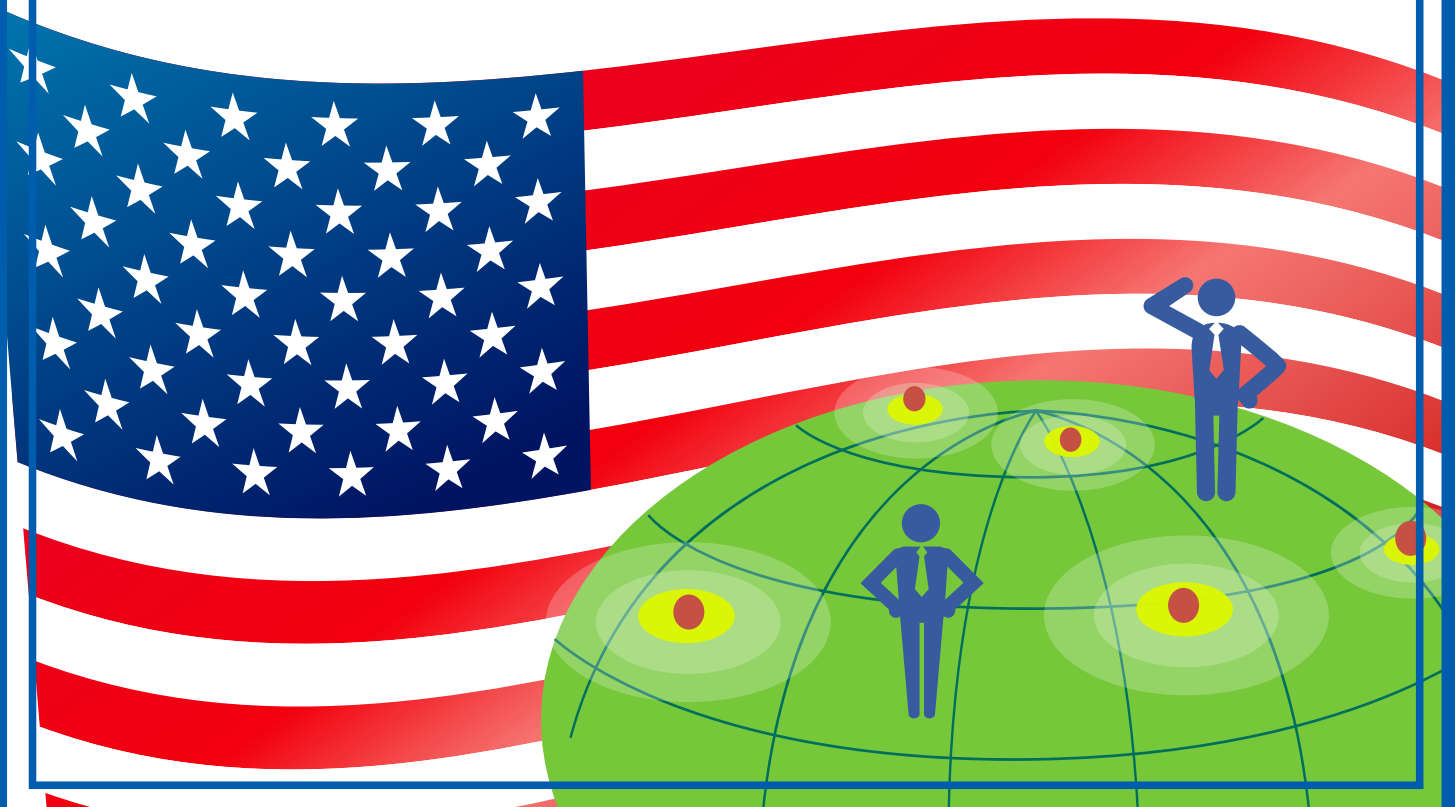
米国の 人材ビジネス

HR Business Overview in the US



04

人材ビジネスの市場規模

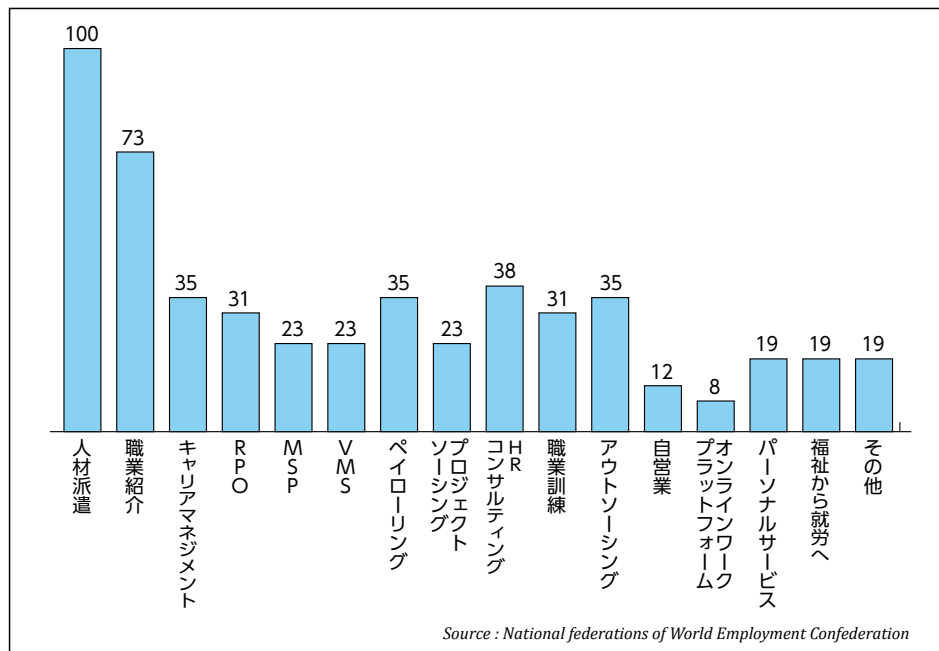


世界の人材ビジネス業界

世界 50 カ国の人材ビジネス会社 16 万 9,000 社が加盟する世界的業界団体 World Employment Confederation (旧 CIETT、以下 WEC) に加盟する人材ビジネス会社は、人材派遣、職業紹介、採用アウトソーシング (RPO)、マネージドサービスプロビジョン (MSP)、キャリアマネジメントなど多彩なサービスを揃え、個人と企業のニーズに応じたソリューションを提供している (図表 1)。

図表 1 WEC 加盟企業の各サービス提供率

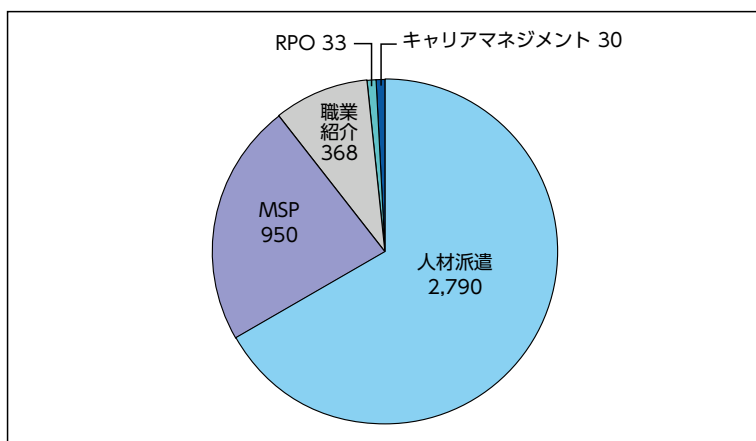
(単位：%)



出所：“Economic Report 2017 edition”, World Employment Confederation

WECによると、人材ビジネス会社の世界の売上高は2015年に4,170億ユーロに達した。このうち、最も大きな割合を占めるのは人材派遣(67%)で2,790億ユーロとなった。次いでMSP(23%)、職業紹介(9%)となった(図表2)。

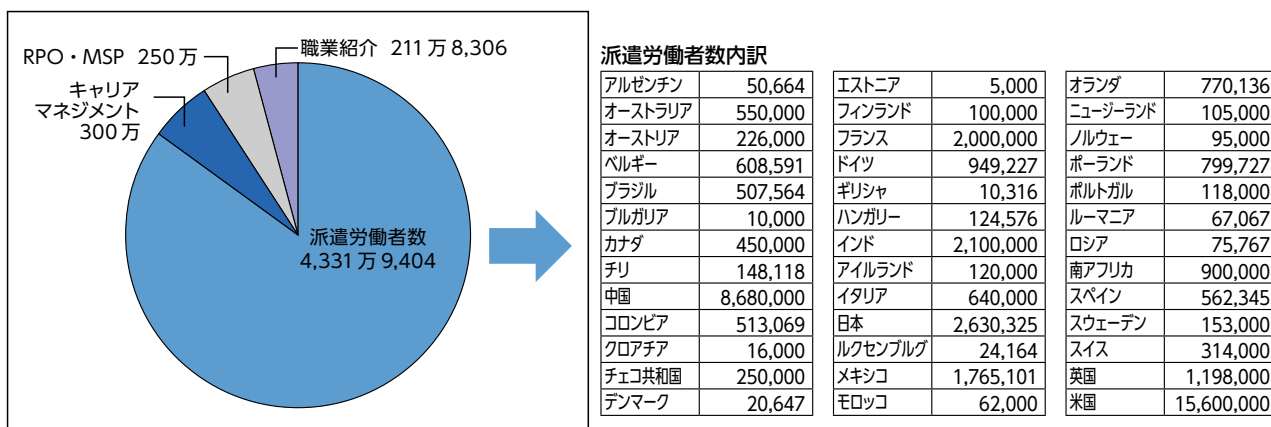
図表2 世界の人材ビジネスの売上高 (単位: 億ユーロ)



注: ユーロの換算レートは2015年の平均にもとづく
 出所: "WEC Economic Report 2017 edition", World Employment Confederation

人材ビジネス業界は2015年に世界で約5,000万人の就業をサポートした。派遣労働者数は約4,332万人で、このうち最も多いのが米国である。後に中国、日本、インドと続く。キャリアマネジメントサービスを受けたのは約300万人にのぼる。RPOやMSPは約250万人、職業紹介では約212万人の採用が成立した(図表3)。

図表3 WEC加盟企業のサービスを受けた労働者数 (単位: 人)



派遣労働者数内訳

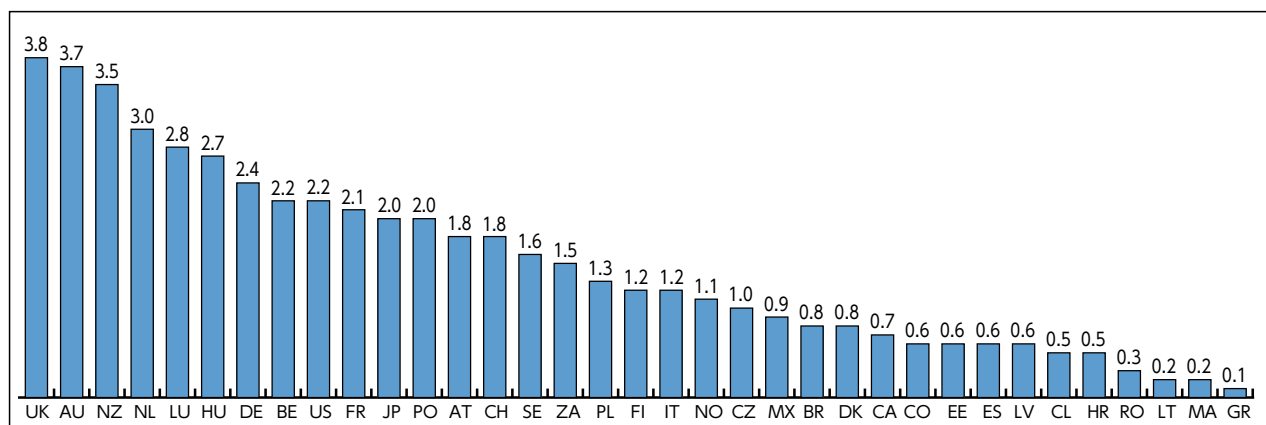
アルゼンチン	50,664	エストニア	5,000	オランダ	770,136
オーストラリア	550,000	フィンランド	100,000	ニュージーランド	105,000
オーストリア	226,000	フランス	2,000,000	ノルウェー	95,000
ベルギー	608,591	ドイツ	949,227	ポーランド	799,727
ブラジル	507,564	ギリシャ	10,316	ポルトガル	118,000
ブルガリア	10,000	ハンガリー	124,576	ルーマニア	67,067
カナダ	450,000	インド	2,100,000	ロシア	75,767
チリ	148,118	アイルランド	120,000	南アフリカ	900,000
中国	8,680,000	イタリア	640,000	スペイン	562,345
コロンビア	513,069	日本	2,630,325	スウェーデン	153,000
クロアチア	16,000	ルクセンブルグ	24,164	スイス	314,000
チェコ共和国	250,000	メキシコ	1,765,101	英国	1,198,000
デンマーク	20,647	モロッコ	62,000	米国	15,600,000

出所: "WEC Economic Report 2017 edition", World Employment Confederation

派遣労働者が世界の労働人口に占める割合はわずか 1.7% である。派遣労働浸透率¹が最も高いのは英国で 3.8%。次いでオーストラリア 3.7%、ニュージーランド 3.5% と続く。米国は 2.2%、日本は 2.0% となっている (図表 4)。

図表 4 2015 年 国別派遣労働浸透率

(単位：%)



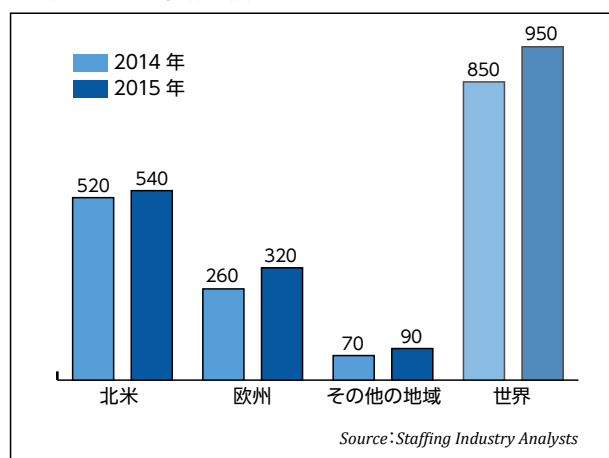
出所：“WEC Economic Report 2017 edition”, World Employment Confederation

地域	国名
北米	CA カナダ
	MX メキシコ
	US 米国
中南米	AR アルゼンチン
	BR ブラジル
	CL チリ
	CO コロンビア
	PE ペルー
アフリカ	MA モロッコ
	ZA 南アフリカ
北東アジア	CN 中国
	JP 日本
	KR 韓国
	AU オーストラリア
アジア太平洋南部	IN インド
	ID インドネシア
	NZ ニュージーランド
	PH フィリピン
	SG シンガポール
	VN ベトナム
	欧州
BE ベルギー	
BG ブルガリア	
HR クロアチア	
CZ チェコ共和国	
DK デンマーク	
EE エストニア	
FI フィンランド	
FR フランス	
DE ドイツ	
欧州	GR ギリシャ
	HU ハンガリー
	IE アイルランド
	IT イタリア
	LV ラトビア
	LT リトアニア
	LU ルクセンブルグ
	NL オランダ
	NO ノルウェー
	PL ポーランド
欧州	PT ポルトガル
	RO ルーマニア
	RU ロシア
	SK スロバキア
	SI スロベニア
	ES スペイン
	SE スウェーデン
	CH スイス
TR トルコ	
UK 英国	

1 1日平均の派遣労働者数(フルタイム換算)を労働人口で割った比率(出所：“WEC Economic Report 2017 edition”, World Employment Confederation)

MSP の 2015 年の世界の市場規模は推定 950 億ユーロで、前年から 12% 増加した。このうち、北米の売上高は 540 億ユーロと前年に続き市場の大半（57%）を占めた。後に欧州 320 億ユーロ（34%）、その他の地域 90 億ユーロ（10%）と続く（図表 5）。MSP は、顧客企業で働く非正規労働者を現場で継続的に管理・監督するサービスで、スタッフィング会社の選定、発注、請求書の処理など正社員以外の人材の採用全体を管理する。MSP の大半は、顧客にベンダーマネジメントシステム(VMS)も併せて提供している。顧客の拠点内に常駐しサービスを提供する場合もある。MSP は、人材ビジネス会社の傘下にある場合もあれば、独立している場合もある。

図表 5 MSP 市場規模 (単位：億ユーロ)

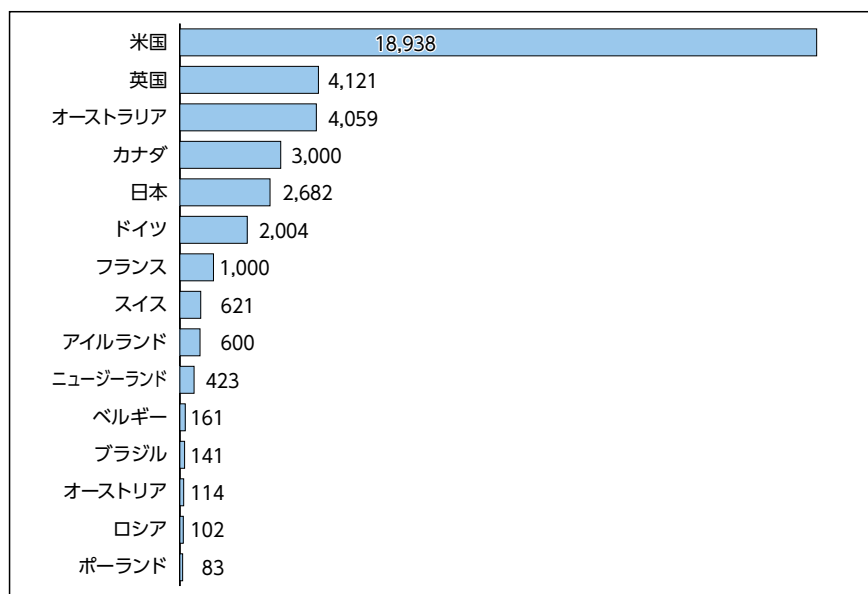


注：2015年の年間の為替レートの平均は1ドル=0.9017ユーロ

出所：“WEC Economic Report 2017 edition”, World Employment Confederation

2015年の世界の職業紹介市場（エグゼクティブサーチを含む）の売上高は368億ユーロだった。売上高が最も高いのは米国で、189億3,800万ユーロと世界全体の約半分を占める。次いで英国41億2,100万ユーロ（11%）、オーストラリア40億5,900万ユーロ（11%）と続く（図表6）。

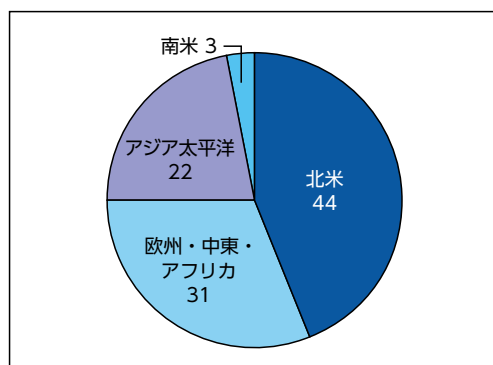
図表6 職業紹介市場 2015年の売上高にもとづく上位15カ国 （単位：百万ユーロ）



出所：“WEC Economic Report 2017 edition”, World Employment Confederation

RPOの2015年の売上高は推定33億ユーロにのぼる。市場シェアが最も大きいのは北米で（44%）、後に欧州・中東・アフリカ（31%）、アジア太平洋（22%）と続く（図表7）。

図表7 RPO売上高の地域別割合 （単位：%）



出所：“WEC Economic Report 2017 edition”, World Employment Confederation

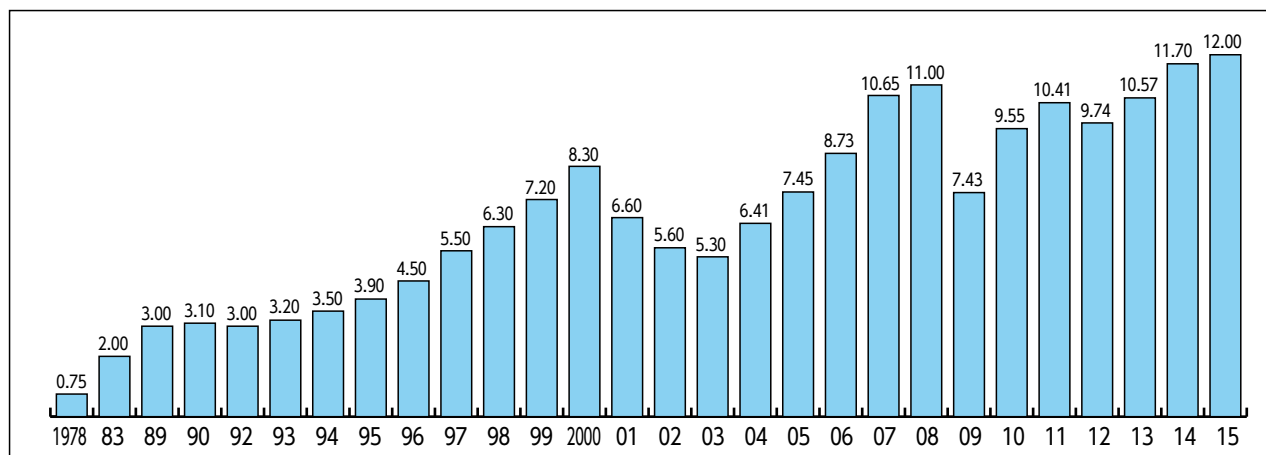
キャリアマネジメントの2015年の売上高は30億ユーロだった。キャリアマネジメントは、個人やグループ単位のアウトプレースメント（再就職支援）サービス、エグゼクティブ向けアウトプレースメントサービス、その他キャリア転換サービスを含む。具体的には、履歴書の書き方、面接スキル、求職活動戦略、コーチング、キャリアガイダンスなどで、通常企業がこれらサービスの費用を全額支払う。

世界75カ国のエグゼクティブサーチ会社約350社が加盟する事業者協会 Association of Executive Search and Leadership Consultants (AESC) によれば、世界全体のエグゼクティブサーチおよびリーダーシップコンサルティング業界の総収益は、2015年時点で120億ドルと、前年から6%増加した（図表8）。世界最大の市場は米国で、全体の約3割（29.9%）を占める。次いで、英国&アイルランド（16.3%）、ドイツ（6.2%）、カナダ（5.8%）、大中華圏（3.9%）と続く²。

業種別で最も需要が多いのは工業で、2015年に行われた人材紹介全体の28.4%を占めた。次いで、金融・プライベートエクイティ・保険（16.1%）、消費財・小売（15.7%）、ライフサイエンス・ヘルスケア（12.7%）、テクノロジー（10.5%）、政府・教育・非営利（8.5%）、その他（4.5%）、ビジネス&専門サービス（3.6%）と続く（図表9）。

2016年に最も伸びると予測される業種はテクノロジー（63%）で、次いでライフサイエンス・ヘルスケア（60%）、工業（32%）、専門サービス（28%）、金融（23%）、消費財・小売（21%）、非営利（19%）、その他（6%）と続いた（図表10）。

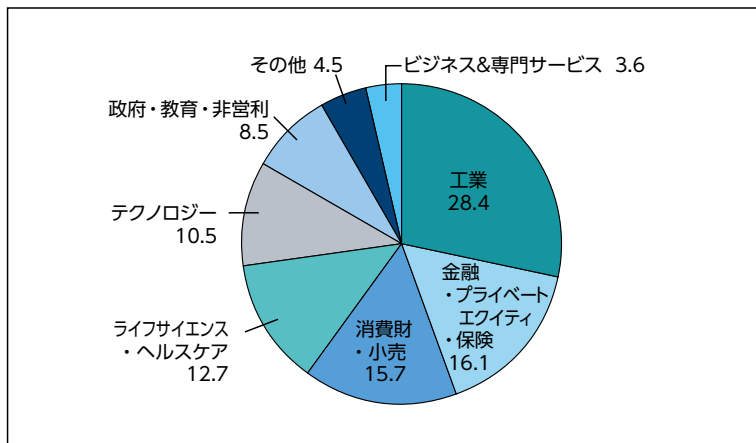
図表8 エグゼクティブサーチおよびリーダーシップコンサルティング事業の世界全体の推定収益 1978～2015年（単位：十億ドル）



出所：“Executive Talent 2020”, The Association of Executive Search and Leadership Consultantsをもとに作成

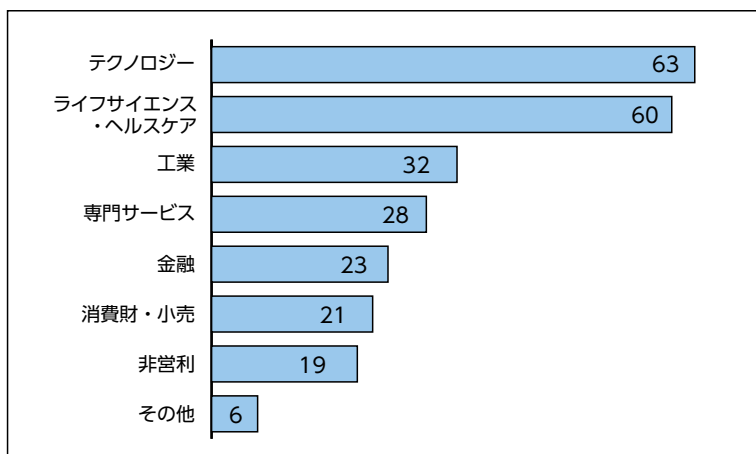
2 “Executive Talent 2020”, Association of Executive Search and Leadership Consultants

図表 9 2015 年に行われた人材紹介の業種別内訳 (単位：%)



出所：“Executive Talent 2020”, Association of Executive Search and Leadership Consultants

図表 10 2016 年に最も伸びるとエグゼクティブサーチ会社が予測する分野 (答えを 3 つまで選択) (単位：%)



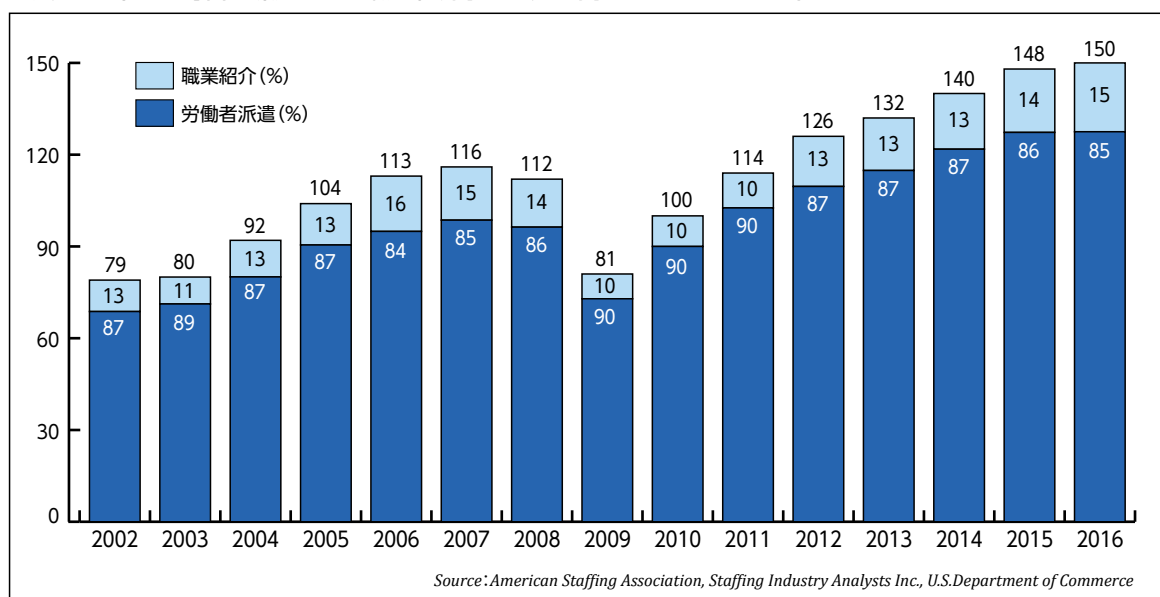
出所：“Executive Talent 2020”, Association of Executive Search and Leadership Consultants

米国の人材ビジネス業界

1. 人材派遣・職業紹介

アメリカスタッフィング協会の年次報告書によると、2016年の労働者派遣事業（temporary staffing および contract staffing）の売上高は、前年から1.8%増の1,285億ドルとなった。これは同協会の Staffing Employment Sales Survey にもとづく。職業紹介事業の2016年の売上高は、前年から2.6%増の219億ドルだった。これは、米商務省の経済国勢調査（Economic Census）の2007年の売上高（180億ドル）を基準値とし、Staffing Industry Analysts が推定する成長率をあてはめて算出している。労働者派遣と職業紹介を合わせた2016年のスタッフィング全体の売上高は、前年から1.8%増の1,504億ドルとなった（図表11）。

図表11 米国の労働者派遣および職業紹介事業の売上高 2002～2016年 （単位：十億ドル）

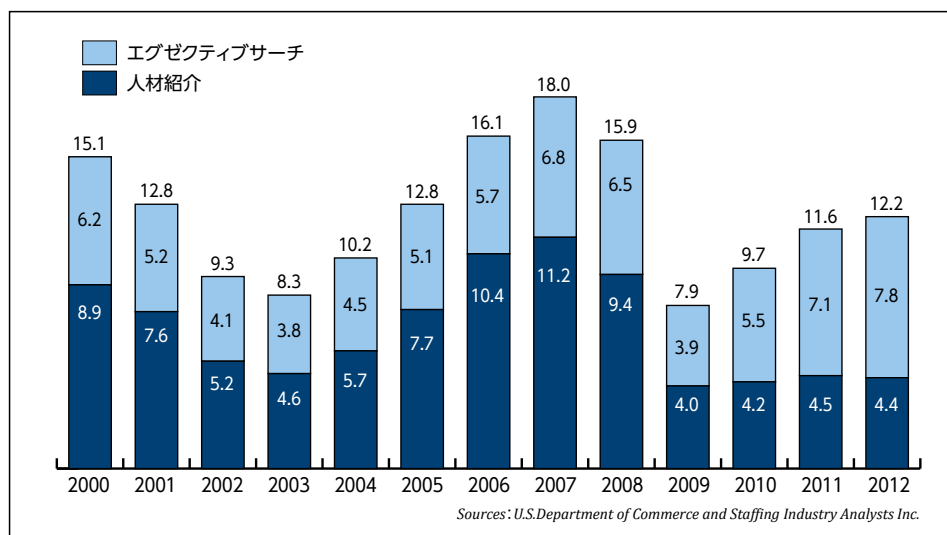


出所：“2017 Staffing Industry Playbook”, American Staffing Association

<https://americanstaffing.net/publications/staffing-success-magazine/2017-special-issue/>

アメリカスタッフィング協会は、2013年まで毎年 Economic Analysis レポートの中で職業紹介事業の売上高の内訳を発表していた。それによると、2012年時点の売上高 122 億ドルのうち、一般の人材紹介（placement）は 44 億ドル、エグゼクティブサーチ（search）は 78 億ドルとなっている（参考）。

【参考】 米国の職業紹介事業の年間売上 2000～2012年 (単位：十億ドル)

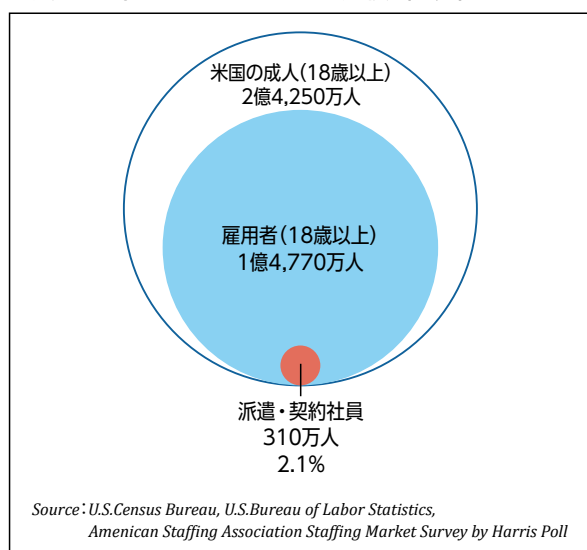


出所：“American Staffing 2013: Navigating the 1% Economy”, American Staffing Association

注：図表11と内容が一致していない部分があるが、アメリカスタッフィング協会の情報をそのまま掲載した

派遣会社の派遣社員および契約社員³が常時何人存在しているのか、これまで正確な数字を把握している団体や機関はなかった。アメリカスタッフィング協会以外に米労働統計局も派遣労働者数を発表しているものの、これには派遣会社のコーポレート社員も含まれるが、契約社員数が含まれていない可能性がある。そこで同協会は2016年に調査を実施し、1日あたりの派遣社員・契約社員数は約310万人に達し、雇用者（18歳以上）全体の約2.1%を占めると推定した（図表12）。このうち、派遣社員数は約190万人（61%）、契約社員数は約120万人（39%）という内訳になっている。

図表12 米国スタッフィングの規模（人数）



出所：“2017 Staffing Industry Playbook”, American Staffing Association
<https://americanstaffing.net/publications/staffing-success-magazine/2017-special-issue/>

2. ジョブボード

ジョブボードは、米国だけでも5万サイト以上あるともいわれている。Staffing Industry Analystsによると、世界のジョブボードの収益は2016年に前年から9%増加の124億ドルに達した⁴。

³ 派遣社員 (temporary employee) は、大卒学位を必要としない低技能の仕事に就いている傾向がある。一方、契約社員 (contract employee) は、通常大卒学位を要する高技能の仕事に就き、派遣社員と同じように派遣会社に雇用されている (出所：“2017 Staffing Industry Playbook”, American Staffing Association)

⁴ Daily News, Staffing Industry Analysts <https://www2.staffingindustry.com/site/Editorial/Daily-News/List-ranks-largest-job-boards-global-job-board-revenue-up-9-43941>

3. ヒューマンクラウド

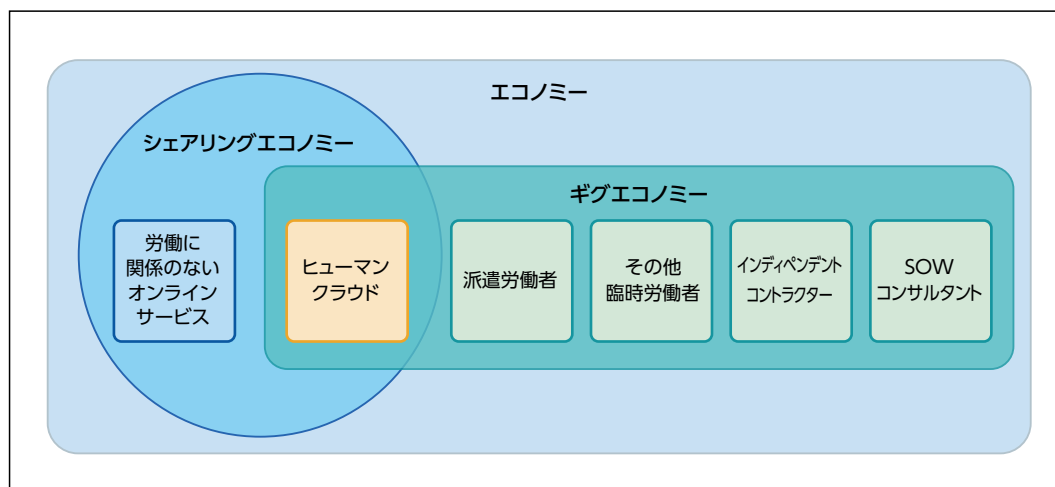
ギグエコノミーは、様々な形態の単発（ギグ）またはプロジェクト単位のフリーランスの仕事を指すことが多い。中には、「オンデマンド経済」「シェアリングエコノミー」「コラボレーション型消費」を含める場合もある。

Staffing Industry Analysts の広義のギグエコノミーには、派遣労働者、企業が直接調達した臨時労働者、インディペンデントコントラクター、SOW コンサルタントといったすべての有期契約の非正規労働者が含まれ、コンティンジェント労働市場と同義語として用いられている。

ヒューマンクラウドは、近年世界中で広まっているこのギグエコノミーの一部を成すサブ領域として位置づけられている。コンティンジェント労働市場の中で、唯一「シェアリングエコノミー」（マッチングプラットフォームを介して遊休資産を短期間リースする）にも含まれる。ヒューマンクラウド会社にとっての遊休資産は、労働者である。

Airbnb（民泊仲介）や Zipcar（カーシェアリング）をギグエコノミーの一部に含める人も多いが、これらのサービスは労働力確保とは関係がないため、Staffing Industry Analysts はギグエコノミーには含めず、シェアリングエコノミーの一部としてとらえている（[図表 13](#)）。

図表 13 ヒューマンクラウドとギグエコノミーの関係性

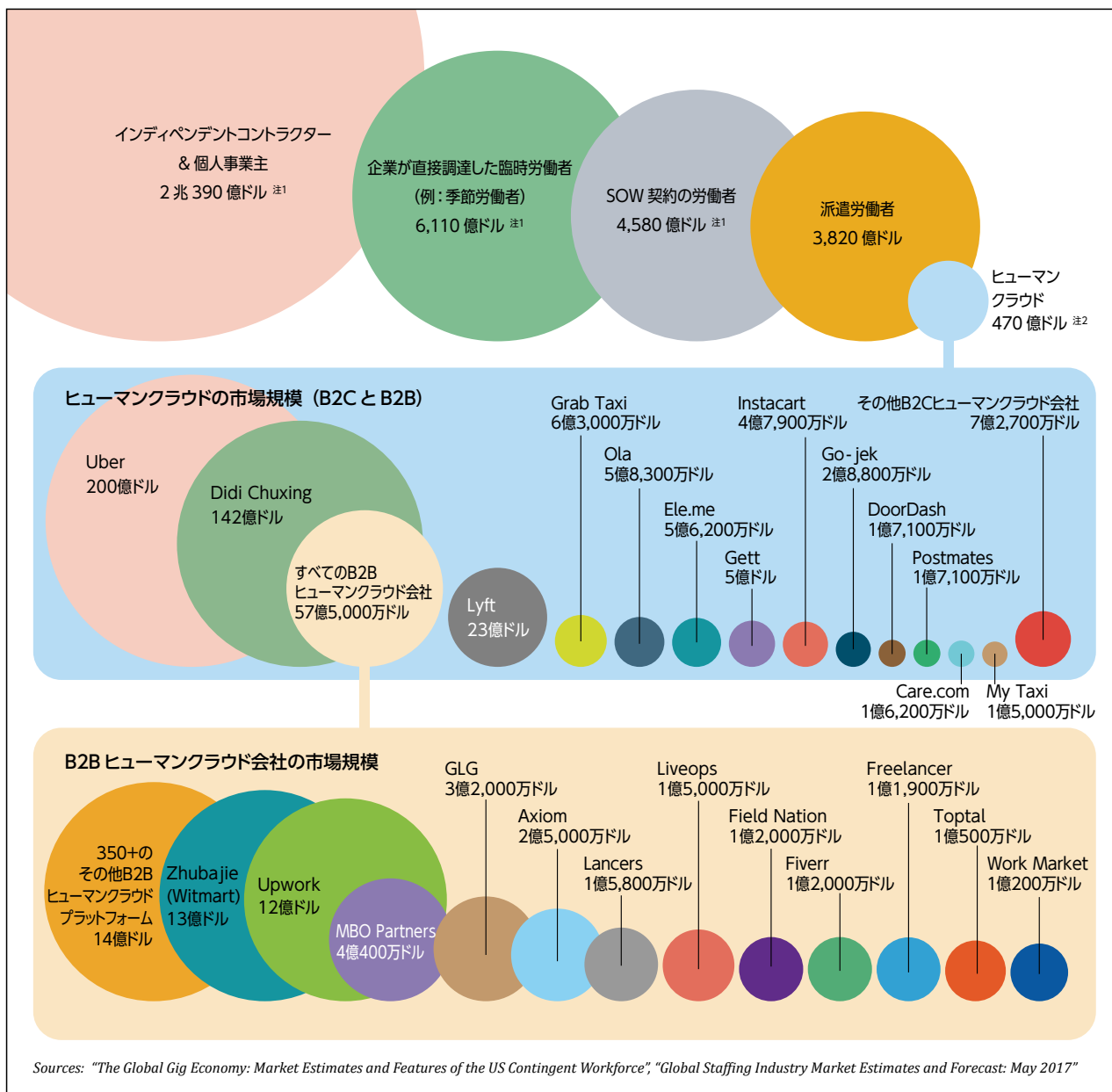


出所：“The Human Cloud, the Gig Economy & the Transformation of Work”, Staffing Industry Analysts

Staffing Industry Analysts は、ギグエコノミー全体の市場規模を約 3 兆 5,000 億ドルと試算している。このうち、ヒューマンクラウドへの世界全体の支出額は 2016 年に推定 470 億～510 億ドルに達した。この大半は、Uber、Lyft、Handy、Ele.me といった B2C サービス（個人にサービスを提供）のヒューマンクラウド会社によるもので、その市場規模は 415 億～447 億ドルと前年の約 2 倍に拡大した。B2B サービス（企業にサービスを提供）のヒューマンクラウドの市場規模は 58 億～65 億ドルとなる。

B2C 会社の中で最大手は Uber で、次いで Didi Chuxing (滴滴出行)、Lyft と続く。B2B 会社の中で最大手は Zhubajie (猪八戒) で、次いで Upwork、MBO Partners、GLG (Gerson Lehrman Group) と続く。

図表 14 2016 年の世界のギグエコノミーの市場規模



注 1 : 2015年の売上高を2016年の売上高として記載

注 2 : ヒューマンクラウドの市場規模は、Staffing Industry Analystsの推定金額の下限を記載

出所 : "The Human Cloud, the Gig Economy & the Transformation of Work", Staffing Industry Analysts

図表 15 は、B2B ヒューマンクラウドプラットフォームのランキングである。日本の Lancers が 6 位につけている。総収益には、労働者に支払われた報酬と仲介手数料（マークアップ、SaaS ライセンス料、報酬からの天引きなど）が含まれる。

1 位の Zhubajie（猪八戒）は、中国の大手クラウドソーシングプラットフォームで、登録者数は 2016 年時点で 1,600 万人を超える⁵。ウェブデザイナー、法律アドバイザー、個人向けの仕立てなど、広範囲のフリーランサーを扱う。10 億ドル以上の企業価値を持つ⁶。英語圏にも進出し、Witmart.com を運営している。重慶市の両江新区やベンチャーキャピタルから 26 億元の出資を受けている。

2 位の Upwork は、Elance と oDesk の合併により誕生した米国のオンラインスタッフィングプラットフォームで、1,200 万人のフリーランサーが登録している⁷。掲載されている業務は、ゲーム開発、マーケティング、カスタマーサービス、バーチャルアシスタント、グラフィックデザイン、経理、法務、プロダクトデザインなど多岐にわたる。

3 位の MBO Partners は、大手企業向けフリーランサー管理システム「MBO Connect」と、請求書の作成や報酬の回収、税金申告といったバックオフィスを代行するインディペンデントコントラクター向けサービスを提供する。

図表 15 B2B ヒューマンクラウドプラットフォーム上位 10 社（2016 年）

順位	社名	2016 年の総収益 (百万ドル)	本社	主な勤務場所	設立年	対象職種
1	Zhubajie ^{注1,2}	1,269	中国	リモート	2006 年	全般
2	Upwork	1,200	米国	リモート	1999 年	全般、フリーランサー
3	MBO Partners	404	米国	オンサイト/リモート	2003 年	プロフェッショナル
4	Gerson Lehrman Group ^{注2}	320	米国	リモート	1998 年	エキスパートのネットワーク
5	Axiom	250	米国	オンサイト/リモート	2000 年	法務サービス
6	Lancers ^{注1}	158	日本	リモート	2008 年	クリエイティブ&デザイン
7	LiveOps	150	米国	リモート	2000 年	コールセンター
8	Field Nation	120	米国	オンサイト	2008 年	ITフィールドサービス
9	Fiverr ^{注2}	120	イスラエル	リモート	2010 年	ロゴ&デザイナー
10	Freelancer ^{注1,2}	119	オーストラリア	リモート	2009 年	デザイン、ディベロッパー、マーケティング

注 1：収益は米ドルに換算

注 2：ヒューマンクラウド事業以外の収益は除外

出所：“The Human Cloud, the Gig Economy & the Transformation of Work”, Staffing Industry Analysts

5 <http://www.scmp.com/business/article/1984094/zhubajie-charges-toward-unicorn-status-and-flotation>

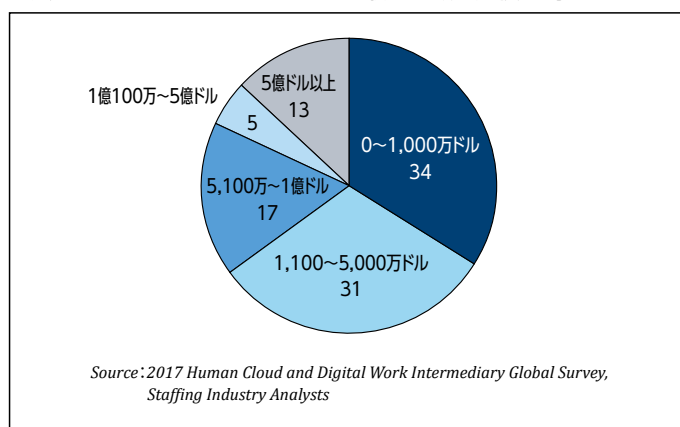
6 <http://thebridge.jp/2016/10/meet-chinas-midas-li-feng>

7 <http://www.chicagotribune.com/business/ct-upwork-chicago-office-freelancer-economy-0802-biz-2-20170801-story.html>

Staffing Industry Analysts は、ヒューマンクラウドを、オンラインワークサービス、オンラインスタッフインフラプラットフォーム、クラウドソーシングの3つのモデルに分類している（「Works University 米国の人材ビジネス 03. 人材ビジネスの事業領域」参照）。2016年のオンラインワークサービスへの世界の支出額は、415億～447億ドルに達した。これはヒューマンクラウド支出額全体の80%以上を占める。オンラインスタッフインフラプラットフォームの世界の支出額は47億～52億ドル、クラウドソーシングへの世界の支出額は6億～8億ドルとなった⁸。

Staffing Industry Analysts の推定によれば、ヒューマンクラウドの利用は近年大手企業の間でも進んでいるが、大半は売上高1億ドル以下の中小企業で、B2Bヒューマンクラウドの収益の82%を占めている。

図表 16 B2Bヒューマンクラウドの収益の顧客規模別割合（単位：％）



出所：“The Human Cloud, the Gig Economy & the Transformation of Work”, Staffing Industry Analysts

4. RPO

Credence Researchによると、RPO業界の世界の市場規模は2014年時点で35億ドルで、2015年から年平均成長率14.4%のペースで成長し、2022年には3倍に拡大すると見込まれている⁹。RPO業界は競争が激しい。スタッフィング会社、BPO会社、RPO専門会社と多数のプロバイダーが存在し、市場は分断化されている。

⁸ “The Human Cloud, the Gig Economy & the Transformation of Work”, Staffing Industry Analysts

⁹ “Recruitment Process Outsourcing (RPO) Market (On-demand RPO and End-to-end RPO) – Growth, Share, Opportunities, Competitive Analysis and Forecast 2015 – 2022”, Credence Research

5. PEO

米国の PEO 業界の市場規模については、全米 PEO 協会（National Association of Professional Employer Organization）が推定 1,360 億～1,520 億ドル（顧客の従業員の賃金と PEO 手数料）と公表している。米国には 780～980 社の PEO 会社が存在し、15 万 6,000～18 万社の中小企業にサービスを提供している。PEO が共同雇用する従業員数は合計 270 万～340 万人に達する。

ほとんどの PEO 会社は小規模企業（従業員規模 10～99 人）を主なターゲットとしており、同協会によれば PEO を利用する顧客の平均従業員数は 22.5 人となっている。小規模企業は、現在米国に約 110 万社存在するが、このうち PEO サービスを利用しているのはわずか 14～16%と、成長の余地は大きい¹⁰。

PEO1 社あたりの共同雇用者数は平均で 6,200 人に達する。全米 PEO 協会に加盟する PEO 会社の平均的プロフィールは図表 17 のとおりである。

図表 17 全米 PEO 協会加盟企業の平均的プロフィール

	2007 年	2008 年	2009 年	2012 年
顧客企業数	202 社	225 社	238 社	—
顧客企業の従業員規模	19 人	20 人	19 人	20 人
PEO が共同雇用する従業員数	3,833 人	4,508 人	4,254 人	6,200 人
収益	1.42 億ドル	1.75 億ドル	1.8 億ドル	—

出所：“NAPEO 2010 Annual Report”, “NAPEO 2013 Annual Report”

¹⁰ “The State of the PEO Industry 2016: Markets, Value, and Trends”, National Association of Professional Employer Organization

Works University
米国の人材ビジネス
04.人材ビジネスの市場規模

執筆

杉田万起（リクルートワークス研究所）

監修

村田弘美（リクルートワークス研究所）

発行日

2018年3月1日

発行

リクルートワークス研究所 グローバルセンター
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17
リクルートGINZA8ビル
株式会社リクルートホールディングス
TEL 03-6835-9200
URL www.works-i.com/

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

©Recruit Holdings Co.,Ltd. All rights reserved.

参考資料等に掲載しているURLは各ウェブサイトへリンクしております。
ただし、ページの移動もしくは閉鎖している場合がございます。

米国の人材ビジネス

04. 人材ビジネスの市場規模

リクルートワークス研究所

〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17

リクルートGINZA8ビル

株式会社リクルートホールディングス

TEL 03-6835-9200

URL www.works-i.com/